

あかね文

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

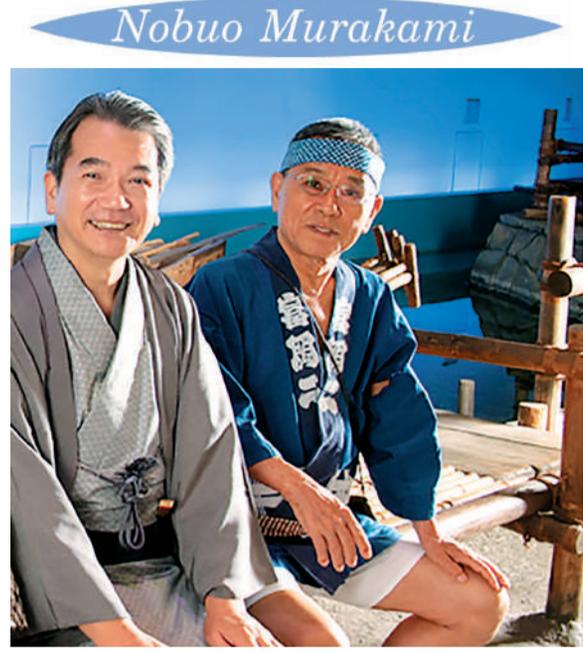
クロスメディアを総合力でプロデュースする

PTC GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525 (代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>

元気のでてくる“ことばたち” (241)



撮影・中川真理子

村上信夫

暇があったら一文字でも面白い小説を書いて「借金を食う」しかない。そう思って、編集者から何度ダメ出しを食らっても書き続けた。そして、1997年、『蒼龍』でオール読物新人賞、2002年、『あかね空』で直木賞受賞。時代小説作家として、江戸時代の市井に生きる人々の人間模様を描いた著書は数えきれない。

見ぬもの清し

作家 山本一力さん

『あかね空』で直木賞受賞。時代小説作家として、江戸時代の市井に生きる人々の人間模様を描いた著書は数えきれない。ラジオピタミンにレギュラー出演していたとき、あの野太い声で「信さん」と呼んでくれていた。ボクも「力さん」と応じていた。ここでも山本さんは、よそよそしいので力さんと書く。

マンハッタンに江戸がある!?

力さんは、時代小説を書くために、何かに導かれるようにして、富岡八幡のあたりに住んだ。「私を物書きとして押し出してくれたのがこの土地であり、富岡八幡宮様です。八幡様にお参りしてひらめきをもたらした。だから直木賞をいた

■村上信夫プロフィール

2001年から11年に渡り、『ラジオピタミン』や『鎌田實いのちの対話』など、NHKラジオの「声」として活躍。現在は、全国を回り「嬉しい言葉の種まき」をしながら、文化放送『日曜はがんばらない』（毎週日曜10:00～）、月刊『清流』連載対談～ときめきトークなどで、新たな境地を開いている。各地で『ことば磨き塾』主宰。1953年、京都生まれ。元NHKエグゼクティブアナウンサー。これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。著書に『嬉しいことばの種まき』『ことばのビタミン』（近代文藝社）『ラジオが好き!』（海竜社）など。趣味、将棋（二段）。
<http://murakaminobuo.com>

だいたときに、どの小説でも、たとえ一行でも、富岡八幡が出てくるようにしようと決めました。

自宅近くにある深川江戸資料館にも、よく足を運んだ。「ここへ来れば江戸が見られたんです。例えば展示してある猪牙舟を見て、大川（隅田川）の棧橋の大きさがわかった。何より、長屋のあんな小

さな部屋の中に流しや土間があつて、家族で暮らしていたんだと実感できました。

「幸いにも、私が育ったのは高知の市営住宅の六畳一間だったので、江戸庶民の暮らしぶりがわかるんです。飯のときはちやぶ台を出し、それを畳むと元の広さになる。夜はそこに布団を敷いて寝る。昔の日本人の暮らし方ってじつに合理的

「庶民は物を所有するという感覚が少なかっただろうね。その代わり、生活用具を貸してくれる損料屋という商売があった。レンタル業のはしりだね。いまは物を捨てないようになりしよとか、環境を考えるとこういうけど、江戸では当たり前の感覚だったと思います。生ゴミがほとんど出なかったというし、ものを全部使いいきつちやう生活つて見事だよね」。

力さんは、ジョン万次郎のことを長期にわたって書いている。その取材で、よくニューヨークに行く。ニューヨークに江戸の名残があるというのだ。

「人が人として、誇りをもって生きていたんだよね。そんな人々の生き方が、いまもニューヨークのマンハッタンで見ることが出来ます。それぞれの店が誇りをもって商いをしています。『さつき行った店より値段が高い』といったら、『ならそつちで買え』といわれたこともある（笑）。例えば、私が子どもの時はまだ町にスーパーがなくて、八百屋や魚屋、乾物屋といった専門の店で買っていました。豆腐は豆腐屋で買う。だからこの店も誇りと責任をもって売っていました。マンハッタンでは、いまもそういう商いをしている店が多いんです」。

「靴屋に靴をもっていけば、靴底だけでも直してくれるし、かけはぎや寸法直し専門の店もある。それで商売が成り立っているのは、客がいるから。アメリカ

は、使い捨て文化だけじゃないんですよ」

「見ぬもの清し」という言葉がある。知らないでいいこともあるという意味だ。いまは全部知らないと気が済まないようなところがある。現代は情報があふれ過ぎている。

「私が小さい頃は医者がいっくら子どもの病気が三つ四つくらいだったよ。いまは病名がたくさんあって、病名をつけられたとたん、病気になるちやう気がする。だから情報はほどほどいい。人が口伝で伝える情報で十分です。町内の長老が『今日はツバメが低く飛んでいるから、雨が降るよ』なんていつていた時代のほうが幸せだったよ」。

江戸時代は平和な時代が二六〇年以上も続いた。そこで育まれた創意工夫の文化は、日本人の中に残っていると思う。あまり悲観的にならず、人として当たり前と思うことを尊んで生きていくようにしたい。

人は、磨かれることばで

好評発売中

対談! 村上信夫



インディアアンフルート教室

開講して10年以上

誰でも簡単に音が出せる楽器です。あなたも今日からインディアアンフルートをマスターしよう

受講生募集!!

会場 マツイン楽器店 ミュージックガーデン武豊
時間 隔週木曜日(月2回) 10:00~11:00
形態 グループ
会費 1ヶ月8,802円(入会金5,400円)

詳しくはマツイン楽器店本社 教室係まで
フリーダイヤル:0120-37-5576

講師 **イネ・セイミ**
(日本インディアナフルートサークル協会ディレクター)
ネイティブアメリカンのスピリットが感じられるインディアナフルート。その音色はやさしく心に響きます。
1レッスン:30分4,000円 会場:半田市潮干町

申込み 0569-89-7127
お問い合わせ ine.seimi.jp@gmail.com

俳画教室開講中

常滑屋
とき 俳画教室月二回 午後一時三十分~三時三十分
会費 一回 一,二五〇円(三ヶ月分前納制)
問合せ ☎〇五六九(三五)〇四七〇



俳画/イネ・セイミ

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職

—自分ドラマつくろう— (91) 岡田 清治

姪の就職2

三人は時の過ぎるのを忘れ、盃を重ねながら談笑を続けた。ママは商売を忘れず、時折、酒の肴と焼酎のお湯割りを運んだ。

真三はマイコンの話が続いた。コストを下げるにはユーザー負担を最大にするにとどろろ。ただ真三が住んでいるウサギ小屋では大きなボールや発泡スチロールの扱いや処理に困る。メーカーとユーザーの間にあるぎりぎりのせめぎあいを感じる。いずれにせよ大きな段ボールや緩衝材の発泡スチロールの始末に困る。

テーブルの上に組み上がったディスプレイ、マイコン本体、キーボードなど気を付けながら載せた。これでテーブルはほぼいっぱいになる。電源スイッチは周辺機器から入れないと故障の原因になると説明書にある。切るときは逆の手順でやるようにと書いてある。このことに気付くのはずっとあとからである。こういうことは大きな字体か、赤字で注意喚起する親切心があってもいいのではないか。高価なものだけにちよっとしたミスによる故障に過剰なほど気になる。

とにかくマイコンを自在に動かすにはまだまだ格闘が続く。この機種では英文、カタカナ文、数字だけしか表示できず、ひらがな文、漢字混じり文は不可能であった。数年前まで商社など企業がコンピュータで作成した文章はすべてカタカナ文だったようだが、日ごろ見慣れていないものには読みづらい。

「マイコン・タロウ 40さい。『るり子、ほらマイコンではこういう風になるんだ』真三はマイコンがなんぞ役立つものか、見せたいと思ってるが、いまのところ画面に文字を並べることができない。

「カタカナでしか表示できないの？」
「いや、これに漢字ROMとワープロのソフトを使えば、普通の漢字混じり文がつくれるよ。まだ、そこまでセットできていないので、いまのところカタカナ文なんだ」

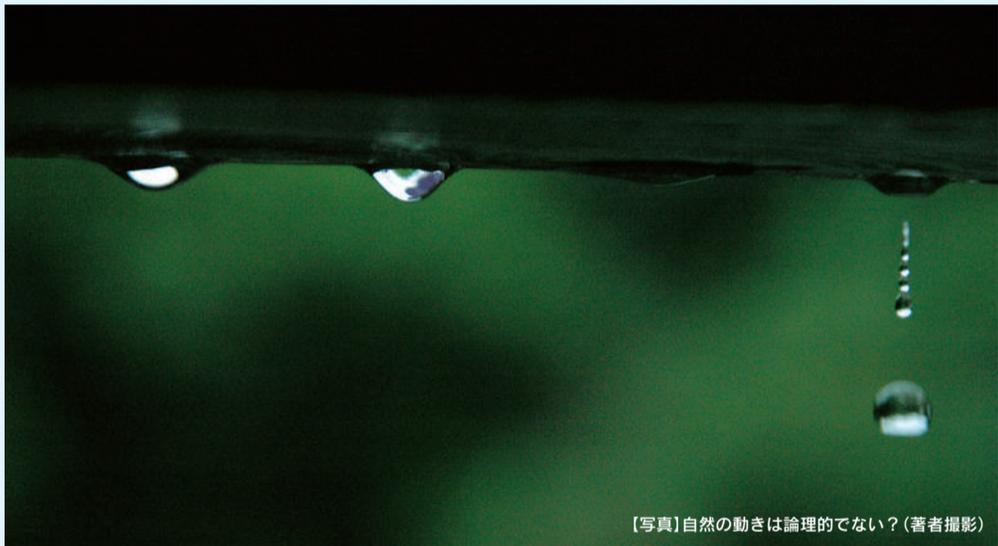
もう夜の12時を回っている。5時間ほどかかって、ようやく画面に表示するところまで来た。あせるとろくなことがないので周辺機器は翌日に後回しにして床に就いた。

「マイコンがあると、家にも早く帰ってくるのね。三日坊主でしょうがー」
「恋人ができたようなものだからだよ」

真三は自分、付き合い酒も減るだろうと思う一方で、一抹の寂しさを覚えた。とにかくパソコンの初期のころに初めて手にした人たちにとって、用語からして新鮮であつても理解できるまで時間がかかった。

顧客ソフトのフロッピーと簡易漢字ワードプロセッサソフトを持っている。これを使うにはフロッピーディスクが必要なのだが、手順を読んでもよくわからない。いまならほぼ常識の用語、フォーマット、バックアップなど理解できず頭が痛い。マイコンの本やマニュアルの説明書は、ある程度フロッピーについて基本的に理解していることを前提に書いてある。真三のよ

うに一度も触ったことがない人間には無理である。高価なものだけに、操作できないと大切なものを失くすという恐怖感に襲われる。パンフレットを読めばできますよと店員は言ったが、それはフロッピーディスクを扱ったことのある人だと思ってしまう。夜も12時近くなる。フロッピーディスクをうらめしく思いつつ、一人で台所に行って酒の燗を始める。酒



【写真】自然の動きは論理的でない？(著者撮影)

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
FAX: 0569-34-7971
メール: takamisuu@akai-shinbun.net



■プロフィール
著者：岡田清治おかせいじ
一九四二年生まれ ジャーナリスト
(編集者)ロクダクシオンNET108代表
著書に『高野山開創二百年 いっぱいさん行状記』『心の遺言』などは社員の全能力を引き出せますか！『リヨンで見た虹』など多数

のまわりが速い。それでもチビリ、チビリ飲んでいくと次第に落ちていく。

「まだおカネを支払ったわけでもないんだから、きつちり使えるまで教えてくれなかつたら払わないぞと脅かすこともできる。相手もそのあたりのことは百も承知だから教えてくれるだろう」

アルコールは真三を力づける。一人で勝手に思い巡らし決め込んでいる。なんでもそうだが、やり方を習得するのも、教えることも難しいものだ。麻雀でも習いたての頃は難しいゲームだと思われ、教える方は簡単なことがなぜ、わからないのだと思っている。道順でも自分が苦労して行つたところなら二度目は楽だが、人に連れて行つてもらつたら、よく覚えていないことがある。苦勞してマスターしたことなら、そう簡単に教えられる気持ちはあるだろうし、専門家になれば初歩的な説明が面倒になるものだろう。フロッピーディスクも同じである。真三は苦しむことになる。

やがてマイコンを持って一ヶ月になる。その間、店の人と何度か電話でやりとりしたが、うまくいかなかった。そこである日、カバンにケーブル、ワープロと顧客管理ソフト、システムディスク、新しいディスプレイ10枚を詰め、土曜日の午後、仕事帰りに店に寄つた。「どうしてもソフトの予備をつくっておきたいのだが、手順がわかりませんので教えてください」

「わかりました」
これまで数回、電話をしていたので覚えていたのか、弱り切つた真三を見て引き受けてくれた。その時、真三は配線通りになつていないと思つていたフロッピー専用のケーブルを取り出した。

「このケーブルを配線図通りに結ぶのですが…」
店員は真三の渡したケーブルをつないでフロッピーのスイッチを入れるが、フロッピーは動かない。もたもたしているように見えたのか、店の支配人風の男が店員に「どうしたんだ」と険悪顔を見せる。それでも店員はケーブルをはずしてはつけて接続を確認している。

これはいまから20、30年前の店の風景だが、その風景はいまも続いている。米国のA社専門店が最近日本の中核都市に支店をオープンした。そこにはパソコン、アイフォン、iPadの最新製品が並べられ、購入したい人、買ったが操作がわからない人、設定の方法など教えるを乞うひとたちが集まってくる。中には老人も混じっているが、大半は40歳代までの若者で小学生もいる。

ここでも大半が販売員でその能力差は大きく、お客にとつてはその当たり外れは大きい。継続して指名できないので、厄介なことである。さらに専門的な質問は予約して技術者が教えてくれる。
「やはりサービスとして徹底していますね」
「それって無料ですか」
「相談の範疇は無料ですが、修理の必要が出てくれば有償です」
「時間のない人には電話でのサポートも可能です」
「面談した方が対応が速いですね」

三人は真三のマイコンの苦勞話に耳を傾けながら、現実のことと重ね合わせながら時折、質問している。

真三は続ける。
「真三は見かねて、店の支配人らしき男に『このコードが配線図通りにならなければならないのです』と説明した。『これはコネクタが逆についているわ。新しいコードを持ってきなさい』」

真三は「やっぱり」と思うとともに、こんなひどい商品を買っていることに腹立たしさを覚えた。フロッピーの操作を知らなかつた真三も、まさかと思つていたが、これでは動かすのは不可能である。
「すみません。新しいのと取り換えてきます」

これで真三も相手に貸しができたような気分になり、店員はソフトをきつちりコピーしてくれるだろうと思つたと、嬉しくなつた。

店員はワープロと顧客管理ソフトを手際よく操作する。その脇で真三は一つの手順も見逃すまいとノートを掲げてメモをとる。もの珍しさに店内の客が真三の気を取られるのか、それとも使えないソフトのためか、あせつて時々もたつく。真三もメモが進まない。例によつて店員は黙つて手早く操作するのでメモがついていけない。操作している途中で聞くわけにもいかず、結局、操作が終わつて手渡されてから聞くとしてもスタートから聞き直さなければならぬので面倒をかけると思つてしまふ。約1時間かかつて、2つのソフトの予備ができた。

真三の使っている簡易ワープロについて少し触れておこう。利用できる文字数は、英・数字や特殊文字などJIS非漢字453種、JIS第一水準漢字が2,965種である。これで普通の文章なら問題ないが、真三の場合、人名を多く扱うので、時々、見つかからない漢字がある。最近のワープロにはプログラムを打ち込んで漢字をつくれる機種も出てくるようだ。漢字変換していると気付くのだが、頻繁に使う単語を登録しておく、例えば「株式会社は「かぶ」で変換可能だが、そうでないと「株」、「式」、「会」、「社」と6回打つことになる。長文や多数回使用する文章でこの差は相当な労力の軽減になる。そのためには自分で辞書をつくらなければならない。これが初めから登録してあるソフトなら助かるが、その代わり価格は高くつく。
真三は一服するつもりで焼酎のお湯割りを二口ほど口に運んだ。前島とママもグラスを取つて真三に合わせた。

「当初のころのワープロも大変でしたわ」
「私なら手書きの方が楽に思えるわ」
「ママは字がきれいだからいいのだけど、私のようにミミズの這つたような字だと、ワープロの威力は大変なものですよ」
「同感です」
「字は練習次第ですよ」
「練習時間がないのだよ」
三人は笑つた。

絵手紙 第二集



絵文 縦山善久

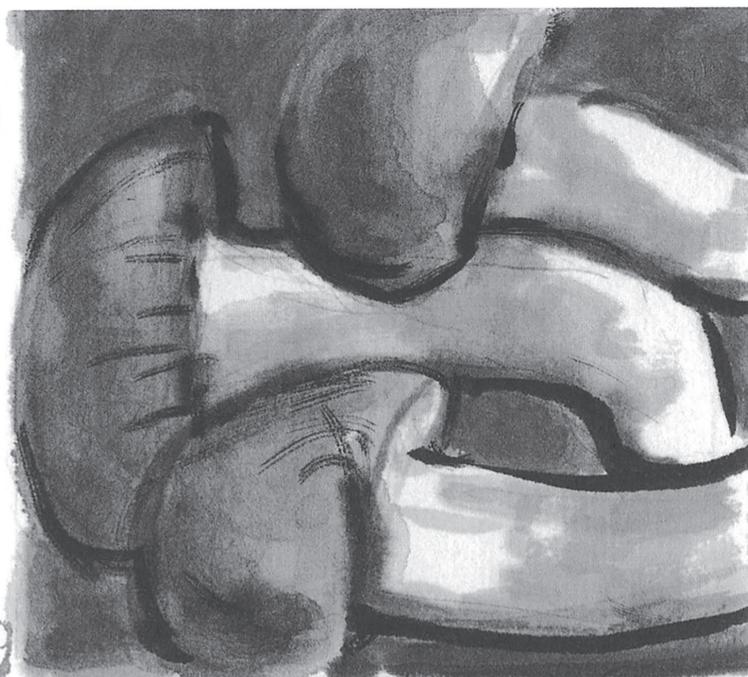
返文 小林玲子

縦山善久

昭和十一年碧南市で生まれる。
 丸栄陶業株式会社代表取締役。
 碧南商工会議所会頭。
 愛知県陶器瓦工業組合理事長。
 全国陶器瓦工業組合連合会理事長などを歴任。
 平成十三年藍綬褒章受賞。
 平成二十二年旭日小授章受賞。
 丸栄陶業株式会社取締役会長を経て相談役に。
 京都造形芸術大学・通信教育部芸術学部美術科・
 洋画コース大学院修士課程修了。
 平成二十九年六月碧南市藤井達吉現代美術館にて
 初の作品展開催。社名を栄四郎瓦株式会社に変更。
 独立美術展 入選。
 岡崎信金資料館にて第二回個展開催

小林玲子

碧南市に育つ。
 西尾市在住
 共著「西尾の民話」
 童話「サケの子ピッチ」
 随筆「海辺のそよ風」
 (中経コラム「閑人帳」より)
 ミュージカル脚本
 「みぐりちゃんのおうち」
 童話集
 「タアタとバアバのたんけんたい」



香り高く見事な松茸。長野県の清内路産

松茸の
 香りにひかれ
 酒を汲む

昔から、人は秋の訪れを喜び、山に
 キコ狩りに出かけ、酒宴を開き、
 持ち帰った松茸を道物にしたり、
 料理して風味を楽しみました。
 少年期、親と社員十人で奥三河
 へ松茸狩りに行き、南京袋二袋も収
 穫した事がありました。伊勢湾台風
 後は、環境も変わって松茸も取れ
 無くなり、庶民の口に届きません。
 先日、知人から見事な松茸を頂き、
 夕食は松茸づくし、酒二合が二合
 に、茶碗蒸しと松茸飯も一杯が
 二杯となって、満腹満腹。お腹を
 さすつて「あー極楽極楽、幸せ幸せ」

この世の極楽からの絵手紙が届きました。
 ありがとうございます。
 なんとも見事な松茸ですねえ。
 ふつくと丸く、つやつやと輝く山の宝石。
 御絵から、芳香が立ち上ります。
 ちよっぴり美酒の香りも混って。
 清内路…佳い地名。
 錦秋の山に分け入れれば、湿潤な山の匂い。
 踏む落葉のそこここに
 茸が隠れていて…楽しい。
 あ、極楽からのうまし香りに、
 私めも酔っております。

かしこ

わが家のニューフェイス



鈴木千晶(2ヶ月) 豊川市諏訪

産まれてから毎日お世話になってます。ママとパパの愛情が伝わります。これからも元気に大きくなっていきます。

写真・文 鈴木彩加



愛とMy Family



小林咲舞(4才) 柚乃(3才) 橙司(1才) 常滑市

家族の愛が伝わります。これからも元気に大きくなっていきます。

写真・文 小林美里



デュプロ販売株式会社 (名古屋)

東海・北陸地区発売元

デュプロはコンピュータネットワークを活用した、お客様の新しいビジネススタイル“e-BUSINESS”を提案していきます。

情報を美しく。デュプロ

Duplo

from print to documents



デュプロ販売株式会社

〒460-0015 名古屋市中区大井町4番19号 TEL(052)321-2020

ほくもわたしも新聞デビュー

中日 **こども新聞**

バラエティー スタディー 歴史マンガ

ぼくのわたしの新聞で「考える力」、「集中力」を身につける!

親子で読んで楽しんで学べます!

毎週 **土曜日**のお楽しみ! 月額 **463円** (税込)

「中日春秋」で学力アップ!? 人間力もアップ!?

「中日春秋」の書き写しは学力アップ・人間力アップの第一歩です。

総合的学力 …すべての教材の学力アップの土台に!

応用的学力 …問題を正確に把握する力・解答の解説を適切に読み込む力

基礎的学力 …読解力・語彙力・集中力・注意力アップ

日常的習慣 …「中日春秋」書き写しよむだけでも○!書き写せば○!

中日春秋書き写し専用ノート **1冊(1ヶ月分) 108円(税込)**

各種お問合せは あかい新聞店まで 武豊店 ☎ 72-0356 常滑店 ☎ 35-2861

わが街 わが店 この道一筋



パート・アルバイト 募集

《業務内容》

- ★早朝業務(配達等) ★夕刊を届ける人(要免許)
- ★集金をする人 ★午前3時から出勤できる人
- ★セントレアに新聞を届ける人



※詳細は担当 赤井までお気軽にお問合せください

中日新聞 あかい新聞店 武豊 (72) 0356 常滑 (35) 2861